

表2 学習・教育目標と基準1の(1)の(a)～(h)との対応

	a	b	c	d				e	f	g	h
				専門							
	地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解（技術者倫理）	数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらに応用できる能力	P	E	S	C	種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力	自主的、継続的に学習できる能力	与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
(A1) コミュニケーションおよびプレゼンテーション能力											
(A2) 建築の価値を多面的に理解する能力											
(B1) 科学的問題解決能力											
(B2) 建築の設計・計画的側面の理解能力											
(B3) 建築の構造的側面の理解能力											
(B4) 建築の環境工学的側面の理解能力											
(C1) 建築物を実現する能力											
(C2) 建築行為の社会的役割を理解する能力											
(C3) 職能倫理観の構築											
(D1) 問題発見・解決能力											
(D2) 独創的視点の修得											
(E1) 多様な社会制度において建築行為を位置づける能力											
(E2) グローバルかつローカルな価値観を理解する能力											

P: Design and Planning; E: Environmental Eng.; S: Structural Eng; C: Construction